

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店 [酒] (店長)	販売量の動き	・インバウンドの制限もなくなり、新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつある。
	◎	スーパー (企画 担当)	来客数の動き	・1人当たりの買上点数は前年割れも、来客数が前年比で4%増加と好調に推移しているため、買上点数減少をカバーし前年比で売上増加となっている。商品の値上げもうまく価格転嫁できたことも売上増加の要因となっている。
	◎	コンビニ (副店 長)	販売量の動き	・今月よりクルーズ船寄港が本格的に再開され、特に免税販売量が前月、前々月よりも伸びてきている。
	◎	その他飲食 [居 酒屋] (経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前並みに入客数が急激に増えている。特に大口の20~50人の予約が入っている。
	◎	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの12月の販売室数が前年比44%増加なのに対して、3月の販売室数は前年比194%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	百貨店 (店舗企 画)	販売量の動き	・マスク着用ルールが緩和となってもいまだ8割程度は着用している。極端ではないが化粧品の下地や口紅の新色の動きが目立ち、マスクを外す準備が始まっていて、化粧品の売上が伸びている。
	○	コンビニ (経営 者)	来客数の動き	・観光客が増えてきている。特に週末の来客数が増加している。
	○	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・春休みシーズンとあって、観光客が増えている。それに伴い来客数も伸びている。
	○	一般レストラン (代表者)	来客数の動き	・マスク着用も任意で、全国旅行支援もあるため、相乗効果で来客数が増えている。
	○	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・宿泊部門は全国旅行支援、スポーツキャンプもあり客が増えている。料飲部門も少しではあるが宴会などの利用が増えている。ただし、人件費の増加、食材費の増加もあり利益は出ていない。売上も新型コロナウイルス感染症発生前の80%程度である。
	○	住宅販売会社 (役員)	来客数の動き	・分譲マンション見学会の来客数が増加している。新築アパートの見学会も客足が良く、新型コロナウイルス感染症発生前の状況になっている。
	□	家電量販店 (営 業担当)	来客数の動き	・来客数の減少が止まらない。商品の値上がりにより、必要最小限のものしか買わない印象を受ける。
	□	乗用車販売店 (経理担当)	来客数の動き	・イベント時の集客は変わらない。
	□	その他専門店 [陶器] (製 造)	販売量の動き	・この3か月で特に急激な変化はない。
	▲	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・前年末から1月にかけては、販売台数は上向きに販売台数は伸びていたが、2月より失速し前年、前々年共に大きく実績を下回った。
	▲	旅行代理店 (マ ネージャー)	お客様の様子	・物価上昇とともに旅行商材が値上がりし、そのまま旅行代金に反映されてしまっている。見積りまでは進むが旅行代金を見て断念することも見受けられるようになってきている。
	▲	通信会社 (営業 担当)	販売量の動き	・販売量が前年の約70%と大きく落ち込んでいる。光熱費や日用品が値上げされるなか、携帯電話のような高価格商品の買換えは後回しになっている。
	▲	住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・個人住宅建築や投資物件に関する相談件数が減少している。
	×	商店街 (代表 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は少し落ち着いているが、来客数がまだ戻っていない店も多々ある。もうしばらくは厳しい状況が続くのではないかと。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量 の動き	・前月に続き日本人観光客の増加に加え、アジア系を中心とした観光客増加も増加し、土産関連への売上が好調を維持している。
	○	建設業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・受注価格が上昇傾向にある。

	○	輸送業（経営企画室）	それ以外	・マスク着用の方針変更やクルーズ船の受入再開など、新型コロナウイルス感染症による制限がもろもろ解除になっており、ようやく収束の兆しをみせている。新型コロナウイルス感染症の収束を見越した物流倉庫がしゅん工しており、また、今後着工していく物流倉庫もあり、物流関係は景気が良くなっている。
	○	会計事務所（所長）	それ以外	・コロナ禍も落ち着き全国旅行支援もあり、県内への入域者数も増加している。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・見積りは民間工事が若干増加しているが、原材料価格の高止まりで収益面は厳しい状況が続いている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・観光業中心に経済が回復しており、その影響で関連の業務増加のため派遣依頼も増加している。
	○	人材派遣会社（総務担当）	それ以外	・沖縄の中小企業でも賃金改善が進み、雇用が安定していく。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・コロナ禍以降、最多となる求人数となっている。求人数の底となった2020年5月と比較すると約2倍の件数まで回復している。しかし、新型コロナウイルス感染症発生前である3年前の2020年3月と比較では85%と、当時の求人数までには届いていない。物流業界、建設業界、医療、介護業界は新型コロナウイルス感染症発生前よりも求人数は多くなっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数だけみると新型コロナウイルス感染症発生前より多い月もあり、また人手不足のため少しずつ賃金上昇の傾向がある。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・求人数も前月同様増えているが、求人1件に対する採用数も増えている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・食品含めた物価高騰が顕著に感じられるようになってきている。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	